

高森町総合計画後期基本計画中間報告 高森町議会意見取りまとめ

NO	意見(総務文教常任委員会・産業厚生常任委員会)	総合計画 目標番号	総合計画 指標名	計画対応 ページ
1	・実際に重要物流に指定されるかが1番重要。期成会等においてしっかり進めて頂きたい。	1-1	内容:目標1-1選ばれる新たな観光地・観光資源の創出形成 指標名:新広域道路交通計画及び重要物流道路・補完路への指定	p1~2
2	・景観保全ガイドラインを策定されているが、老朽化町営住宅(山王園団地、中川原団地、村中B団地)は、町の景観を損ねているのではと考える。 ・町営住宅を建替えるとしても、費用が高額にならざるを得ないが、比較的安い単価で施工できる災害住宅等での建設でも十分ではないか?また、民間(介護)施設とも協力した住宅が建設出来ないかと考える。 ・入居者がいない町営住宅は、地域おこし協力隊や集落支援員等において、管理して頂くよう依頼しても良いのではないかと考える。 ・他の事例でデイサービスが利用できるような住宅がある。こういったサービスのある住宅であれば入居者は喜んで移っていただけるのではないかと、検討をお願いする。 ・こういう住宅の建築は、住民福祉課、健康推進課、政策推進課等にも協議し決定した方がよい。例えば、福祉の分野で介護予防や在宅支援等では有利な補助率で事業が進められるのではないかとと思う。協力して進めて頂きたい。 ・こういう問題は、他市町村でも起こっているものと思われる。全国に類のない、新たな住宅建設を検討して頂きたい。	1-4	内容:目標1-4景観の保全とリンクする新たな取り組み 指標名:景観保全要領(ガイドライン)の策定による景観保全	p5
3	・農林畜産業ブランド協議会について、品目をブランド化するのか町をブランド化するのか、これまでを振り返ると農産物の継続性が無く、品目をブランド化するのは難しい。競争力のある農業を作るためには、高森町自体をブランド化させて付加価値をつけるといったやり方で進めてほしい。	4-3	内容:目標4-3南阿蘇高森農林畜産業の「地域ブランド化」を推進する 指標名:ブランド化協議会の設立	p26
4	・現在、SDGSを進めている中、高森で作られた堆肥を高森の畑に戻し、高森で作物が出来ていく事は、循環する意味もあり非常に大切なこと。町内の農家は1/2補助で使用が増えているかわからないが、一般の家庭菜園等にも使用してもらおう事も考えてほしい。	4-3	内容:目標4-3南阿蘇高森農林畜産業の「地域ブランド化」を推進する 指標名:有機堆肥の生産・販売量	p94
5	・認定農業者について、高齢になると資金を借りることも難しい。農業経営のエキスパートが経営を分析して、経営が成り立つ方法を示せる職員を育ててほしい。	4-4	内容:目標4-4農林畜産業での技術・誇りの継承と後継者育成の推進 指標名:認定農業者数	p27
6	・直売所整備等検討委員会の設置方針について、南阿蘇鉄道の全線開通前に作った方がよいのではないかと。 ・道の駅や直売所は数十年前から設立ブームがあるが、経営がままならないところもある。十分に検討しないとけない。	4-6	内容:目標4-6産学官連携の加速化を推進 指標名:直売所整備等検討委員会の設置	p29
7	・移住者の方の声を広げる方法を検討してほしい。	5-1	内容:目標5-1 3つの戦略!「町あげて」・「風に乗る」・「風を興(おこ)す」 指標名:高森町の教育を受けたいと転入する世帯数	p35
8	・町内のケアマネジャーの高齢化、人員不足が事業所からあがってきている。町としても事業所の指導や育成など考えていかなければならないと思う。 ・山間部があるので、出張所や朋遊館を拠点として行っていくなども考えなければならない。	6-1	内容:目標6-1「わかりやすい・親しみやすい・支援しやすい体制」の構築 指標名:保健・医療・介護の多職種連携によるワンストップ窓口の整備	p41
9	・乳幼児健診について、風邪などで欠席の場合等は受けれるような対応をお願いする。	6-7	内容:目標6-7きめ細かな子育て支援のための施策の推進 指標名:乳幼児健診受診率	p48